

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通専攻科	単 位	2
科目コード	科目名 ファッションプロデュース	授業期間	通年

担当教員(代表)：阿部 泰祐	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

プロデュースに必要な能力として「相手への伝え方、表現」「情報の捉え方、表現」「思考の整理、視点」を学びます。
業界の最前線から実例を（今のトレンドを踏まえつつ）講義し、社会に出た後に自己実現出来る人材の育成を目指します。

【授業計画】

本講義「ファッションプロデュース」は3つの授業構成で実施致します。

- 1：
3つの大きな能力（「相手への伝え方」「情報の捉え方」「思考の整理」）を養う為に、毎回の授業の中で、その日の「お題」を出します。
それに対して学生一人一人が発言（発表）をするスタイルを基本とします。
この「お題」は事前に伝えず当日発表とし、学生はそれに即興で答えを導く必要があります。
一方通行の講義ではなく、双方のコミュニケーションによる「聴く講義」から「参加する講義」とし、当事者意識を持って授業を受けて頂きます。
- 2：
今現在のファッションプロデュース業界の最前線を知ってもらう為、ファッションショー・インスタレーション・イベントなどの動画やニュースを紹介します。
これらは日本のみならず世界を含む内容とし、グローバルな意識を育てて頂きます。
必要に応じて過去の動画等を紹介する事で、今との比較を通じて見識を深めます。
- 3：
色々な物事の考え方、見方、捉え方を知る為に、担当講師の繋がりで「デザイナー」「スタイリスト」「プランナー」「音楽プロデューサー」「メディア編集長」「アーティスト」などをお招きし、他業界や他業種からファッションプロデュースとは何かを模索します。
より多くのプロフェッショナルに触れることによって、感性の幅を広げて頂ければと思います。

【評価方法】

S～C・F評価（学業評価70% 学業姿勢30%）

【主要教材図書】

特に無し

【参考図書】

特に無し

【その他資料】

織研新聞、WWD 等

【担当教員紹介】

2002.3 文化服装学院ファッション流通専攻科ファッションデザイナー専攻を卒業。
2002.4 SUN デザイン研究所に入社。
同社 大出一博 代表に師事し、代表補佐・プロデューサーとして従事。
在職中に織研新聞社「日本のファッションを面白くしてくれる次世代100人」（2010.1）に選出された。
2010.5 独立、ファイブメディット株式会社を設立、代表取締役 兼 プロデューサーとして現在に至る。
2021.3 最近の代表的なプロデュース事例は、渋谷スクランブル交差点での世界初となるファッションショーとして広く報道された「KANSAI YAMAMOTO」がある。（SHIBUYA FASHION WEEK のメインコンテンツ）

記載者氏名

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	RN3	科 名	ファッション流通専攻科	単 位	6 単位	
科目コード		科目名	ファッションディレクション	授業時間	通年	

担当教員(代表)：山口容子	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション業界におけるディレクションのプロセスを、イベント企画・運営・検証の体験を通して学び、チームにおける自らの役割を考え実行する力を身に付ける。また、これまでの2年間の専門性をイベント実習を通してブラッシュアップし、卒業研究・創作(セルフプロデュース)につなげていく

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

学生主導のグループワークにて、イベントの企画・運営・検証のプロセスを体験

1、イベント企画運営「ファッションフェスティバル」 40コマ

2、卒業イベント企画運営 40コマ

上記2つのイベントの実行を以下のプロセスで行う(ショー以外の場合も準ずる役割で実行)

- ・クライアント(広報)より、今回の趣旨説明
- ・目的に合わせ、今年度にふさわしいショー全体のテーマ決め
- ・役割分担とスケジュール決め
- ・シーンプレゼン、シーン選出、シーン順の検討&決定
- ・各シーンの詳細打ち合わせ&情報共有
- ・舞台、エフェクト(音効照明映像)、歩行案、スタイリング、メイク等の検討&決定
- ・モデル&各パート協力学生募集&選出
- ・協力学生への情報共有&実働
- ・リハーサル&本番
- ・準備から本番、終了後までのプロモーション活動(SNS、ポスター、リーフレットなど)
- ・来場者情報による検証

【評価方法】

グループワーク実習 点検 出欠席 授業態度 講評(自己・クラスメイト・講師)

英字評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

山口容子

・文化学園大学短期大学部専攻科研究生卒業後、文化服装学院に就職。2020年3月社会情報大学院大学 広報・情報研究科卒業
広報・情報学修士(専門職)取得。一般財団法人ブランド・マネージャー認定協会1級資格取得(2021年12月)

記載者氏名： 山口 容子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RN3	科 名 流通専攻科	単 位	2 単位
科目コード	科目名 ファッションプロモーション	授業期間	通年

担当教員(代表)：菅原敬太

共同担当者：平塚佑佳

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション感覚をベースにしたプロモーションが数多く実践されていることに着目して、アパレル産業・商品に特化したプロモーション事例考察や技術を学ぶのではなく、様々な産業で実践された「ファッションナブル プロモーション」の事例考察や企業とのコラボレーション型実践演習等を通して、企画（IDEA）・設計（DESIGN）・運営（MANAGEMENT）・報告（REPORT）に関する知識や技術を学びます。
さらに、「ファッションに対する新しい価値観」に触れることで、自身の新たな可能性を呼び起こします。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
ファッションナブル プロモーションとは	講義	1	プロデュース実践.G(報告)	WS	1
ファッションについて考える	WS	2	「現代プロモーション事情を知る」	WS/講演	2
「共感消費」について考える	WS	2			
ファッション感覚について考える	WS	1			
集団でのアイデア立案を知る	WS	2			
現代プロモーションを調査する	WS	1			
目的と手段の違いを知る・理解する	WS	2			
プロデュース実践.A(企業調査)	実習	2			
プロデュース実践.B(企画)	実習	3			
プロデュース実践.C(設計)	実習	4			
プロデュース実践.D(準備)	実習	3			
プロデュース実践.E(運営)	実習	1			
プロデュース実践.F(検証)	実習	2	注：WS＝ワークショップ		

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価50%/授業姿勢50%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

特徴：現在も広告宣伝領域の最前線で活動する講師の強みを生かした実践に演習や現役の声など“リアル”から学びます。
紹介：新製品発表会を中心とするPRイベントの現役プロデューサー。 文化服装学院流通専攻科卒業

記載者氏名 菅原敬太

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RN3	科 名 ファッション流通専攻科	単 位	単位
科目コード	科目名 デジタルイノベーション	授業期間	

担当教員(代表)：仲田 朝彦	共同担当者：
----------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>各回直近の世界で新たに生まれたテクノロジー情報を共有し、IT リテラシーを向上させる。</p> <p>下記3つの能力を身につけることを到達目標とする。</p> <p>① 情報収集力：最先端デジタルを中心とした世の中の動向を常時収集できる状態</p> <p>② 思考力：得た情報に対して思考する力</p> <p>③ 伝える力：企画・プレゼン力の育成及び実践機会</p>

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先					
テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
01.オリエンテーション 概要説明	講義	1	16.AI 市場の歴史・現在・未来に関して②	講義	1
02.メタバース市場の歴史・現在・未来に関して	講義	1	17.テックツール学習 3 DCG ①	講義	1
03.ファッション×メタバースのポテンシャル①	講義	1	18.テックツール学習 3 DCG 学習×生成 AI	講義	1
04.ファッション×メタバースのポテンシャル②	講義	1	19.アイデアをビジネス化するための学習①	講義	1
05.プレゼンテーションスキル基礎①	講義	1	20.アイデアをビジネス化するための学習②	講義	1
06.プレゼンテーションスキル基礎②	講義	1	21.ビジネスモデルとマネタイズ①	講義	1
07.生成 AI と CG を活用したプレゼンテーションスキル	講義	1	22.ビジネスモデルとマネタイズ②	講義	1
08.コアサービスプランニング	講義	1	23.アイデアソンを通して新規事業を立案①	ワーク	1
09.自己紹介ポートフォリオ作成①	ワーク	1	24.アイデアソンを通して新規事業を立案②	ワーク	1
10.自己紹介ポートフォリオ作成②	ワーク	1	25.アイデアソンを通して新規事業を立案③	ワーク	1
11.自己紹介ポートフォリオ発表①	発表	1	26.アイデアソンを通して新規事業を立案④	ワーク	1
12.自己紹介ポートフォリオ発表②	発表	1	27.新規事業プレゼン発表	発表	1
13.「優位性と独自性」を作り出す手法を学ぶ	発表	1	28.総まとめ	講義	1
14.上期まとめ	講義	1			
15. AI 市場の歴史・現在・未来に関して①	講義	1			

<p>【評価方法】</p> <p>S～C・F 評価</p> <p>課題提出：内容評価 80%</p> <p>授業姿勢：授業出席・態度 20%</p>
--

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 毎週のテクノロジーに関する WEB 時事 NEWS

授業の特徴と担当教員紹介 三越伊勢丹の中で新規事業としてメタバースとデジタルファッション事業を立ち上げ運営する非常勤講師。 ファッションと新規事業、プレゼンテーション、事業計画設計、3DCG や AI 等のデジタル関連の実務経験
--

記載者氏名 仲田朝彦

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	1 単位
科目コード 503100	科目名 映像メディア	授業期間	第 2 時限(木曜日)

担当教員(代表) : (株)インファス・ドットコム 角倉 典彦	共同担当者 :
---------------------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
ファッションに関する映像についての歴史と、ファッションショーを中心としたファッション動画映像を考察し、実践的に映像メディア制作を行う上での基本知識習得を目的とする。放送開始 38 年を超えた BS テレビ東京「ファッション通信」を主な題材に取り上げ、時には制作担当者も呼び、制作過程の紹介を行なう。受講生が将来様々な映像メディア制作にかかわる際に、本講座がその一助となることを期待する。

【授業計画】			
テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先			
コマ	内 容	コマ	内 容
1	インターネットや携帯電話の発達とファッションメディアの関係/デジタル時代のメディアの在り方とデザイナーたちの試み	9	映像制作概論2/実際のプロモーションビデオ制作/川上系映像の制作実例と企画の重要性
2	ファッションショーの成立の歴史的過程と演出についての考察/歴史的な流れの中で、デザイナーが誕生し、ファッションショーが成立した過程/オールドスタイルのファッションショー	10	日本人モデルの系譜 伊東絹子、松本弘子、山口小夜子から富永愛。 90年代トップモデルたちの今。 次世代モデル
3	ファッションショー成立の歴史的過程と演出についての考察2 さまざまな形態のショー/失敗したファッションショーの例	11	映像制作概論3/1990年代のファッションフォト の分析 と現在活躍する日本人ファッションフォトグラファーの活動の解説
4	ブランドマネージメント1/アルマーニのドキュメンタリーに見る彼のブランディング戦略	12	映像制作概論4/「他者の目線」の理解
5	ブランドマネージメント2/片平秀貴元東大教授によるブランド成立の3要素 Viktor & Rolf の戦略	13	ファッションTV番組の作り方/「ファッション通信」現役女性プロデューサーによる番組制作解説
6	インターネット出現によるマーケティングの変化/AIDMAからAISCEASへ実例を提示する	14	映像制作概論5/コンプライアンスと制作者の責任
7	映像制作概論1/番組制作の手順/映像文法とモンタージュ理論、「省略と強調」		
8	サステナビリティとファッション 欧米ブランドの戦略を解説		
評価方法・対象・比重 : 出席状況と課題レポート			

主要教材図書
参考図書
その他資料 BS テレ東「ファッション通信」/ファッション映像各種

授業の特徴と担当教員紹介 企業にてマルチメディアを利用したファッション専門情報の映像(番組)制作と情報配信を行っている実績をもとに、ファッションに関する映像についての歴史と、ファッションショーを中心としたファッション動画映像を考察し、実践的に映像制作を行う上での基本知識習得を目的とした授業を実施

記載者氏名 角倉 典彦

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通専門課程	単 位	4 単位
科目コード 902800	科目名	美学	授業期間	

担当教員(代表) : 五野井郁夫	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

今日アートとファッションは相互連関関係にあり現代美術への理解と評価は必須である。本講義では美学の基礎と現代美術、アート市場の操作を分析し、ファッション・ビジネスに不可欠な知識を会得することを目的とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
美とは何か	講義	2	アート史 9 ミニマリズム	講義演習	2
美的価値と芸術的価値	講義	2	アート史 10 シミュレーションイズム	講義演習	2
美のカテゴリーとレパートリー	講義演習	2	アート史 11 ポストモダニズム	講義演習	2
美と倫理、検閲	講義演習	2	アート史 12 スーパーフラット以後	講義演習	2
美とジェンダー #Metoo 以降	講義演習	2	アート史 13 写真史	講義演習	2
美と公共性、パブリックアート	講義演習	2	アート史 14 映画史	講義演習	2
レイシズムと美の変遷 #BlackLivesMatter 以降	講義演習	2	アートワールドの現在	講義演習	2
アート史 1 印象派、ラファエル前派	講義	2	国際美術展 1: ヴェネツィアビエンナーレ	講義	2
アート史 2 分離派、未来派、シュプレマティズム	講義	2	国際美術展 2: ドクメンタ、ベルリン	講義	2
アート史 3 ダダ	講義	2	国際美術展 3: あいちトリエンナーレ 2019	講義	2
アート史 4 シュールレアリズム	講義	2	国際美術見本市: アート・バーゼル	講義	2
アート史 5 バウハウス、モダニズム	講義	2	アート・マネジメントと商業芸術	講義演習	2
アート史 6 アメリカの戦前アート、ホッパー等	講義	2	地域アートジェントリフィケーション	講義演習	2
アート史 7 抽象表現主義、反芸術	講義	2	アートと敵対性、日常性	講義演習	2
アート史 8 ポップアート	講義演習	2	全体のまとめと講評	講義演習	2

【評価方法】

毎回のプレゼンテーションと課題提出 100%

主要教材図書 山本浩貴『現代美術史』中公新書 2019、ロバート・ステッカー『分析美学入門』勁草書房 2013 年、榎木野衣『シミュレーションイズム』ちくま学芸文庫 2001 年

参考図書 西村清和『分析美学基本論文集』勁草書房 2015 年、ハル・フォスター『第一ポップ時代』河出書房新社 2016 年、クレア・ビショップ『人工地獄』フィルムアート社 2016 年、蓮実重彦『映画への不実なる誘い』青土社 2020 年

その他資料 あいちトリエンナーレ 情の時代の図録

授業の特徴と担当教員紹介 スライド、映像による解説、アトリエ式の学生参加型演習を行う。
現代美術家の藤井光やキュレーターの遠藤水城らとともにさまざまな作品や展示に関わりアサヒアートスクエア等でも講演を数多く行うとともに、ダムタイプなどの批評を美術批評を多数行っている。

記載者氏名

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	RN3	科 名	ファッション流通専攻科	単 位	1 単位	
科目コード		科目名	イベント実習	授業時間	通年	

担当教員(代表)： 山口容子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

教室では学ぶことのできない現場での体験を通し、経験値を上げ、よりリアルな知識・技術の習得を目指す。現場で起こる様々な状況に、臨機応変に行動できる対応力、人間力の向上を身に付けることも目標とする。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

学内外のファッションショーやイベントのリハーサルと本番の実働時間に対する単位
 ・ファッションフェスティバル(文化服装学院7月末イベント)のファッションショー
 ・卒業イベント

【評価方法】

出欠席 イベント実習での貢献 P 評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

山口容子

・文化学園大学短期大学部専攻科研究生卒業後、文化服装学院に就職。2020年3月社会情報大学院大学 広報・情報研究科卒業
 広報・情報学修士（専門職）取得。一般財団法人ブランド・マネージャー認定協会1級資格取得(2021年12月)

記載者氏名： 山口 容子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RN3	科 名 ファッション流通専攻科	単 位	1単位
科目コード	科目名 ワールドワイドビジネス	授業期間	前期

担当教員(代表)： 澤住 倫子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・世界中のファッションビジネスを社会・風俗・経済・環境・IT・医療など人の暮らしに関わる全ての視点でつなぎ合わせていく
- ・現在過去未来のベクトルを使ってパラダイムを捉えていく

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- I. オリエンテーション … 講義 (1コマ)
 1. 授業内容と今後のスケジュール
- II. ワールドワイドで見るファッションビジネス … 講義・実習 (1コマ)
 1. 時代性とファッション・求められる職種について考える
- III. ファッションビジネスの変遷 … 講義 (3コマ)
 1. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1950年ー1970年
 2. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1980年ー現代
 3. 現代のファッションキーワード
- IV. ファッションビジネスの変遷トピックス研究 … 実習 (1コマ)
- V. ファッション産業構造／貿易 … 講義 (1コマ)
- VI. ブランディングのストーリー戦略 … 講義 (1コマ)
- VII. ファンベースマーケティング(ファンベースプロモーション) … 講義・実習 (2コマ)
- VIII. 研究課題 … 講義・実習 (3コマ)
 1. ニュー●時代のファッションビジネス提案

【評価方法】

提出課題 60% 出席状況 40%

主要教材図書

参考図書 日経、繊研新聞、繊維白書、WWD、情報雑誌など

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 澤住 倫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通専門課程	ファッション流通専攻科	単 位	1 単位
科目コード	科目名	コーチング		授業期間	前期 単位

担当教員(代表)：飯島一敏	共同担当者：
---------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>より大きな成果を出すためには、チームで物事に取り組むことによって最適解を導き出すことになるが、そのために必要な知識や行動をコーチングスキルを身に着ける実践を行うことによって高め、社会に出た際の行動の指標となるようにする。</p>
--

【授業計画】			
コマ数	テ ー マ	目 的	指 導 内 容・方 法
1	コーチングとは？ 自己紹介 オリエンテーション	コーチングについて大枠を学習する。 コミュニケーションの大切さを学習する	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～基礎1～仕事はチームで行う	一人で仕事をするのではなく、仕事はチームで行うことを確認する	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～基礎2～情報リテラシー	決断・判断には情報と経験が必要だということを実践する	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～基礎3～目標設定	目指すべき目標は何かということを明確にする	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～実践①～SDGsで考える 情報	実践として、まずは情報をしっかり身に着ける講義を行う	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～実践①～SDGsで考える グループワーク	講義を受け、2人で協力し最適解を導く 解答は具体的に行う	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～実践①～SDGsで考える 発表	自分自身で導いた解を発表することにより、	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～実践②～新商品開発 情報	実践として、まずは情報をしっかり身に着ける講義を行う	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～実践②～新商品開発 グループワーク	講義を受け、3～4人で協力し最適解を導く 解答は具体的に行う	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～実践②～新商品開発 グループワーク	自分自身で導いた解を発表する 皆を納得させる工夫を行う	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～実践③～模擬食品会社コンサル 情報	実践として、まずは情報をしっかり身に着ける講義を行う	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～実践③～模擬食品会社コンサル グループワーク	講義を受け、7～8人で協力し最適解を導く 会頭は具体的に行う	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～実践③～模擬食品会社コンサル 発表	自分自身で導いた解を発表する 皆を納得させる工夫を行う	講義とワーク及び発表
1	コーチング実践 ～実践③～模擬食品会社コンサル 発表	自分自身で導いた解を発表する 皆を納得させる工夫を行う	講義とワーク及び発表

<p>【評価方法】</p> <p>出席80% 授業態度20%</p>

<p>主要教材図書</p> <p>作成したプリント類</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>【特徴】知識だけではなく、実践の項目を多くし、知識よりも経験させることで力をつける授業を構築</p> <p>【講師】元大手保険会社勤務し、その後経営コンサルテントとして活動。特に温泉旅館を中心とした部分に特化しており、そのためか“生”のデータや声、経験を活かした指導を行っている。</p>

<p>記載者氏名 飯島一敏</p>

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RN3	科 名	ファッション流通専攻科	単 位	単位
科目コード		科目名	プレゼンテーションスキル	授業期間	()

担当教員(代表)： 富島佳子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

講義、スピーキング、デザイン、練習、フィードバックを繰り返し、実践に役立つスキルの習得。プレゼンテーションを何のために行うのか。そのマインドも併せて伝える。社会において使える自分の表現方法を知る。オーディエンスにわかりやすく、納得性の高いプレゼンテーションを目指す。仕事においてどのような場所でも「伝える」ことはすべてプレゼンテーションであると自覚し、自分を表現する方法を身に着ける。

【授業計画】

- 1 自己紹介 1 年の概要
- 2 コミュニケーションとは？
- 3 自分を知る。現在地の確認。強みの発見。実際の終活においてもつがえる自己 PR 作成
- 4 自己 PR とフィードバック
- 5 自己 PR とフィードバック 2
- 6 SDS PREP
- 7 4MAT
- 8 デザインと伝わり方・ブランドコンセプトとその魅力プレゼン準備
- 9 プレゼン準備
- 10 プレゼン準備
- 11 プレゼンのオープニングとクロージング
- 12 発表
- 13 発表
- 14 LAB プロファイル
- 15 伝えると伝わるの違い 言葉以外の使い方 場をつかさどるとは
- 16 ミルトンモデル・メタファーの影響力の使い方
- 17 メタファーを使いこなす
- 18 ロジカルに組み立てる ロジックツリー
- 19 ロジカルに組み立てる 2 ピラミッドストラクチャー
- 20 心理学を使った相手への影響力 販売心理学
- 21 グループワークの進め方 説明 プレゼン内容決定
- 22 制作
- 23 制作
- 24 発表
- 25 発表
- 26 一年間のラップアップ

【評価方法】

授業における態度 30% 出席日数 30% プレゼンテーション資料作成内容・デモ内容 40%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

心理学に基づく相手への影響力の高め方をスキル・マインド両側で伝える。プレゼンテーションにおいての言語、非言語の大切さを学ぶ。実践を繰り返し、自信をもって自己を表現する大切さと楽しさを学ぶ。

記載者氏名 富島佳子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科ファッションデパート専攻	単 位	2
科目コード 617000	科目名 アクセサリープロデュース演習（選択）	授業期間	通年

担当教員（代表）：中川 清美	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。新しい素材を取り込み時代性・オリジナリティーの高いアートアクセサリーの制作・服の制作・コーディネートヒントになることを目標とする。</p>

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>	
<p>1. アートアクセサリー鑑賞レクチャー 参考作品の素材の説明とアイデア提案</p> <p>アートアクセサリーデザイン テーマ：紙粘土を使ったアートアクセサリー</p> <p>アクリル絵の具、助剤の特徴・扱い方・説明</p>	<p>8. アートアクセサリーデザイン テーマ：樹脂で作るアクセサリー 樹脂の特徴・扱い方・説明</p>
<p>2. アートアクセサリー制作実習 金属以外の物（紙・粘土・布 e t c...）に金属の腐食感を出す方法 中川作品鑑賞</p>	<p>9. 制作実習 アンティークボタン鑑賞</p>
<p>3. 制作実習</p>	<p>10. 制作実習 アンティークブレード鑑賞</p>
<p>4. 制作実習仕上げ</p>	<p>11. 制作実習 ヌーボーデコアクセサリー鑑賞</p>
<p>5. アートアクセサリーデザイン テーマ：卑金属・卑金属プラス異素材を使ったアクセサリー アメリカンフラワーの扱い方</p>	<p>12. 制作実習 イラスト写真鑑賞</p>
<p>6. アートアクセサリー制作実習 アジアのアクセサリー鑑賞</p>	<p>13. 仕上げ</p>
<p>7. アートアクセサリー制作実習</p>	<p>14. シルバー粘土の特徴と扱い方 リング リング、デザイン 制作実習</p>
	<p>15. 制作実習 仕上げ</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>作品提出 70%・授業態度 20%・出席 10%</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当講師の紹介</p> <p>フリーイラストレーター、コスチュームアクセサリー作家として幅広く活動しつつ、文化服装学院にてアートアクセサリー／イラストレーションの講師をつとめる。</p> <p>世界各国のアクセサリー資料の紹介、いろいろなアクセサリー素材、道具類の説明を含め、デザインの幅を広げ、ファッションとコーディネート提案ができるような授業内容</p>
--

<p>記載者書名欄 中川 清美</p>

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RN3	科 名 ファッション流通専攻科 流通専攻	単 位	1
科目コード	科目名 選択 メイクアップ	授業期間	後期

担当教員(代表)：齋藤 房枝	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>ファッションの専門知識を活かし、ヘア、メイク、コスメ様々な傾向を分析し、トータルにヘアメイクアップ作品として表現する。制作作品は2作品、テーマ、モデル、フォトシューティングまですべてディレクションする。</p>
--

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>	
①オリエンテーション 用具の使い方・テクニック手順 示範 作品テーマ案決め(2テーマ) (傾向分析&作品の方向性決め&材料収集)	× 2
②作品制作Ⅰ準備・リハーサル (表現方法点検&材料検討)	× 2
③作品制作Ⅰフォトシューティング (作品制作実習&撮影)	× 2
④作品制作Ⅱ準備・リハーサル (表現方法点検&材料検討)	× 2
⑤作品制作Ⅱフォトシューティング (作品制作実習&撮影)	× 2
⑥作品まとめ	× 2
⑦プレゼンテーション	× 2

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>授業作品(ノート)評価+作品評価+出席状況(学業評価70% 授業姿勢30%) [英数字評価]</p>

主要教材図書
参考図書 MAKE-UP BEAUTY SABFA 'S MAKE-UP
その他資料

<p>記載者書名欄 齋藤 房枝</p>

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RN3	科 名 ファッション流通専攻科3年	単 位	1
科目コード	科目名 パーソナルカラー実践・実習	授業期間	前期

担当教員(代表)：小島 有紀	共同担当者：－
----------------	---------

教育目標・レベル設定など (* 色彩活用パーソナルカラー検定2・1級に対応できる内容)

これまで学んできた色彩学・配色理論をベースに、ファッションビジネスの現場で実践できるパーソナルカラーコンサルティング・カラー戦略としてパーソナルカラーを習得する。似合う色を分析するドレーピング、自分ブランディングシートの作成、配色実践、クライアントへの対応の理論等を通してコンサルティング力(分析・提案)やプランニング力(企画・提案)を磨くことを目標とし、具体的にビジネスに展開した論文を作成する。パーソナルカラー検定2級・1級対応

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

◆ オリエンテーション・パーソナルカラーとは(1コマ)

- ・授業の目的・内容・進め方 / 習得目標スキル / 資格取得の意義(色彩活用パーソナルカラー検定2級・1級)
- ・パーソナルカラーの全体像および本来の目的・意味
- ・ファッションビジネスへのパーソナルカラーの活用方法や展開方法 / 活用事例 / 就活をふまえた活用

◆ パーソナルカラー概論(2コマ)

- ・パーソナルカラー(似合う色)の定義
- ・パーソナルカラーの色分類とイメージ / 色の見分け方(色感)
- ・色素と似合う色の関係性(色の三属性でとらえる考え方) / 色素確認と似合う色の予想
- ・「パーソナルアイデンティティ(自分らしさ)」の確立と「自分ブランディング(外見と内面の自己実現)」

◆ コンサルティング実習・提案実習(4コマ)

- ・分析理論 / コミュニケーションに活かすドレーピング方法
- ・ドレーピング実践(グループ別ドレーピング実習)
- ・パーソナルカラーをテーマにしたコンサルティングの理論・手法
- ・プロフィールの読み込み・コンセプト立案・配色提案(自分ブランディング提案、シート作成)

◆ ファッションビジネスへの活用(パーソナルカラーによる企画・提案)(6コマ)

- ・パーソナルカラーを他者に説明する(定義・色分類・イメージワード・色素と似合う色の関係)
- ・パーソナルカラーのビジネス展開の可能性を考える(商品・VMD・サービス等への活用方法)
- ・カラー戦略としてパーソナルカラーを活用する手法とその体験 → 企画書の作成(パーソナルカラー論文)
- ・プレゼンテーション(企画の発表)

評価方法・対象・比重

- ① S～C・F 評価：学業評価 60% (課題の内容評価・授業内ロープレ)
授業姿勢 40% (出席状況・参加姿勢・課題提出状況)

主要教材図書：「パーソナルカラー検定公式テキスト3級」日本カラーコーディネーター協会

参考図書 なし

その他資料 プリント教材、カラーカード

記載者書名欄 小島 有紀

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	RN3	科 名	ファッション流通専攻科	単 位	2 単位	
科目コード		科目名	ファッション商品演習	授業時間	通年	

担当教員(代表)： 山口容子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション商品の市場動向を捉え、自身の提案する企画に沿った商品を研究し、プロトタイプを作成を通して、ブランドとして一貫した商品づくりから提供までを実習を通して体験する。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1、ファッション商品の市場調査	3コマ
2、ターゲットの価値観やライフスタイル調査	3コマ
3、上記に合わせて卒業研究・創作に関わるファッション商品の作成	20コマ
・リサーチ結果を踏まえた商品企画	
・作成商品の素材(材料)選定	
・プロトタイプの作成	
・プロトタイプの検証改善	
4、卒業研究・創作の発表にむけたまとめ	3コマ

【評価方法】

課題 レポート 出席 授業態度により評価
英字評価

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

山口容子
・文化学園大学短期大学部専攻科研究生卒業後、文化服装学院に就職。2020年3月社会情報大学院大学 広報・情報研究科卒業 広報・情報学修士（専門職）取得。一般財団法人ブランド・マネージャー認定協会 1級資格取得(2021年12月)

記載者氏名： 山口 容子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RN3 科目コード	科 名 ファッション流通専攻科 科目名 アパレル染色演習（選択）	単 位	1単位
		授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：板橋美紗子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 各種の染色技法を実習することにより、染色・加工の観点からテキスタイルについて理解を深める。
 あわせて染色・加工品の商品知識を広げ、各自が研究および創作する関連課題の企画・制作力の強化に結びつける。

【授業計画】 テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先		
1. 染色概論 ・主な染料の種類と特徴 ・染料と繊維の染色適合性 ・染料と繊維の結合と染着過程	(0.5コマ)	(講義)
2. 天然染料による染色 ・天然染料の種類と特徴 ・天然染料の色素抽出法、浸染法、媒染法	(1.5コマ)	(講義・実習)
3. 直接染料による浸染 ・直接染料の特徴 ・直接染料による浸染法	(2コマ)	(実習)
4. 低温タイプの反応染料による絞り染め ・反応染料の特徴 ・絞り染めによる防染の仕組み ・絞り技法と染色法	(2コマ)	(講義・実習)
5. 顔料樹脂染料による簡易スクリーンプリント ・スクリーンプリントの仕組み ・機械捺染の種類と版式 ・顔料樹脂染料の特徴と染料との比較 ・スクリーン製版と印捺、仕上げ方法 ・特殊プリント加工	(4コマ)	(講義・実習)
6. デニム生地への抜染 ・プリントによる抜染の仕組み ・抜染プリントの特徴 ・抜染プリントの印捺と仕上げ方法	(2コマ)	(講義・実習)
7. オパール加工 ・オパール加工の仕組みと適性繊維 ・オパール糊の印捺方法とベーキングの方法	(2コマ)	(講義・実習)

評価方法・対象・比重 学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局
--

参考図書

その他資料

授業の特徴 染色の基礎から応用的な技法を、浸染（煮染め）・捺染（模様染め）の順番で学ぶ
担当教員紹介 板橋 美紗子：明星大学日本文化学部生活芸術学科テキスタイル専攻卒業 文化服装学院非常勤講師

記載者氏名 板橋美紗子

文化服装学院教務部

記載者氏名 中村 浩

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RN3	科 名	ファッション流通専攻科	単 位	1 単位
科目コード		科目名	ウェルビーイングプログラム	授業期間	9/12-1/30 (後期)

担当教員(代表)： 片岡まこ	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ウェルビーイング思考を通して、新しい時代のリーダーシップとは何かを考えたとき、**創造性・生産性を高めるためにストレスフリー**な状態を作り出し、**心身ともに健康的な状態**であることが望ましく、それを目指していきます。

今や世界のトレンドとなっている、リーダーとして仲間を信頼し、円滑に全体の運営を行うために**耐久力・持続性**を養い、**思いやりや価値観の共有**といった関係性の維持などのチームコミュニケーションを重視したプログラムになります。

心と体の健康が、**学びの喜びやモチベーションアップ効果**を生み、大切な仲間への感謝・尊敬の言葉を共有しあい、人と組織の幸せを実現させるための学びを深めていくことになる。延いては仕事に就いても離職せず、自らの行動で周りを盛り上げていけるそんな存在になっていくためのプログラムである。

【授業計画】

- 体を動かす
ヨガや、マインドフルネス、ワークアウトを通して、マインドセットを行う。
- 自己認識
オリジナルワークを通して、自己分析をして価値観や潜在意識を知る。
- 課外活動を通して、ウェルビーイングに生きる為のヒントを得る。
- プレゼンを通して仲間たちのウェルビーイング思想を共有し合う。

【評価方法】

P 評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ウェルビーイングは世界でも注目されている考え方であり、社会で活躍するリーダーシップ思考を育む為のプログラムとしては今や必要不可欠となります。心と体を整えることをベースとした内容にした上で、オリジナルカリキュラムで展開していきます。

片岡まこ ミスインターナショナル・アースコンテストや、モデル・ミュージカル出演経験を経て上場企業に入社。イベントプロデューサーとして経験を積み、その後、第一子を出産後独立し、起業。ウェルビーイングを軸にファッション、アート、インテリア、ヨガ、マインドフルネスなどのサービスを展開している。

記載者氏名 片岡まこ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RN3	科 名	ファッション流通専攻科	単 位	単位
科目コード		科目名	ヴィジュアルマーチャンダイジング	授業期間	

担当教員(代表) : VMS 株式会社 道仲 阿子	共同担当者 :
---------------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ヴィジュアルマーチャンダイジングの意義とその効果を理解し、リテールレイアウト計画能力のある人材の育成を目指す。

店頭管理の重要性を理解し、買いやすくメンテナンスしやすい、実践で使える売り場作りができる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
VMの基礎知識①VMの意義	講義/ワーク	2	ゾーニング①	講義/ワーク	2
VMの基礎知識②VMの目的・役割・責任	講義/ワーク	2	ゾーニング②	講義/ワーク	2
VMの基礎知識③訴求力の高め方	講義/ワーク	2	管理運営するディスプレイ①	講義/ワーク	2
VMの基礎知識④店頭実体験(木更津アウトレット)	講義/ワーク	2	管理運営するディスプレイ②	講義/ワーク	2
VMの基礎知識⑤質と量の関係	講義/ワーク	2	店舗診断①店舗の課題抽出	講義/ワーク	2
VMの基礎知識⑥特徴の理解	講義/ワーク	2	店舗診断② 改善策を提案できる	講義/ワーク	2
テーマ別 VM	講義/ワーク	2	1年のまとめ/期末試験	講義/ワーク	2
導線の理解	講義/ワーク	2			

【評価方法】課題評価50% 期末試験40% 授業姿勢10%

主要教材図書	VMS トレーニングキット
参考図書	
その他資料	

授業の特徴

ブランドやMD戦略に合わせてマーケティングの観点を理解した上で、店舗ゾーニング、ディスプレイの手法や役割を理解し、運営する店舗を計画から実行まで検証し、体系的に考えられる「小売業」にアプローチできる人材を育成する。

担当教員紹介

大手アパレル店長を経て、ヴィジュアルマーチャンダイジングを担当、その後VMコンサルティング会社、Visual merchandising studio 株式会社に入社、有名ブランドのヴィジュアルマーチャンダイジングの指導を行っている。

記載者氏名 VMS 道仲 阿子

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	RN3	科 名	ファッション流通専攻科	単 位	1～4 単位	
科目コード		科目名	インターンシップ 1t.2t.3t.4t	授業時間	通年	

担当教員(代表)： 山口容子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション流通専攻科のカリキュラム内容に即した実践学習を行う場として、企業やスタイリストなどの現場での実習を行い、専門の職種の知識や実務を体験するだけでなく、社会人としての規範や厳しさを学び、各自のキャリア形成へとつなげていくことを目標とする。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

・実習先の開拓

原則として、学生自らが開拓し実習に臨む

・インターン期間

受け入れ可能な時期で、最長20日間(休憩を除く実働時間 8 時間／1 日)まで

・インターン実習 単位換算時間

1単位：8時間×5日 = 40時間

2単位：8時間×10日 = 80時間

3単位：8時間×15日 = 120時間

4単位：8時間×20日 = 160時間 (±3時間)

・結果報告とまとめ

実習先企業より記録票・評価表を提出いただき、単位換算

【評価方法】

実習時間、企業寄りの記録票・評価表により

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生の就職やキャリア形成に関わる企業でのインターンシップ

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	RN3	科 名	ファッション流通専攻科	単 位	2 単位	
科目コード		科目名	特別講義Ⅲ	授業時間	通年	

担当教員(代表)： 山口容子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

それぞれの専門分野の第一線で活躍する外部講師より、社会の現状やビジネスの難しさ、楽しさを学び、幅広い視野を持ち、キャリアを積み上げていく柔軟な発想へつなげていくことを目標とする。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1、特別講義

・ファッションディレクションについて	2 コマ
・アパレル現場での仕事	2 コマ
・セルフプロデュースの方法(卒業生の活躍より)	2 コマ
・プロップスタイリストの現場	2 コマ
・映像活用によるメディアの力	4 コマ
・バーチャルファッションの現状	1 コマ
・ファンベースの実践	6 コマ
・クリエイティブデザインの力	2 コマ
・ファッションジャーナリズム	2 コマ

2、校外授業

学内外展覧会・美術館・展示見学	5 コマ
-----------------	------

合計 28 コマ

【評価方法】

出席・レポートにより P 評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション業界やPR業界で活躍する実務家による特別講義

記載者氏名： 山口 容子

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	RN3	科 名	ファッション流通専攻科	単 位	4 単位	
科目コード		科目名	専攻科卒業研究・創作	授業時間	後期	

担当教員(代表)： 山口容子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

セルフプロデュースをするため、自己分析や興味関心分野の調査を行い、ターゲットを研究し、自身のキャリアで提供したい価値を考え具現化し、集大成として年度末に展示などの発表を行う。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1、導入 卒業研究創作について	講義(1年間の流れ、学習のポイント)	1
2、自己分析	講義・実習	5
3、興味関心に関する調査	演習・リサーチ	5
4、ターゲット分析	演習・リサーチ	5
5、提供したい価値	講義・点検・実習	5
6、価値の具現化	企画立案・演習	20
7、研究創作発表準備	資料作成実習・点検	10
8、発表・講評	発表・講評・まとめ	4

【評価方法】

課題 点検 出欠席 授業態度 講評(自己・クラスメイト・講師)

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

山口容子 ・文化学園大学短期大学部専攻科研究生卒業後、文化服装学院に就職。2020年3月社会情報大学院大学 広報・情報研究科卒業 広報・情報学修士(専門職)取得。一般財団法人ブランド・マネージャー認定協会1級資格取得(2021年12月)
--

記載者氏名： 山口 容子